

異文化知り 尊重したい

外国人留学生がしめ縄作りを体験し、日本の伝統文化に触れたという記事を読みました。今、福井だけでなく、日本ではさまざまな国の人が暮らして



しめ縄作り 留学生ら挑戦
福井・高須 伝統触れる

福井大の外国人留学生7人が4日、福井高須原小(休校中)でしめ縄作りを体験した。地元農家に教わりながら立派なしめ縄を完成させ、日本の伝統に理解を深めた。

高須町の農家や、佃田たけし(インドネシア、本郷)留学中に清水さん(80)が指導した。留学生は清水さんの手元をじっくり見ながら、用意されたしめ縄の本体に竹の串を使ってつらさを避け、水引やこの飾りなどを付け完成させた。「エビは、日本では腰が曲がるまで長生きできる」と教わっていた。教育学部で学ぶハムドム・ムフティン(20)は「しめ縄はインドネシアにはない文化で面白い。わが国を使う作業は難しかった」と話していた。

留学生との交流は福井市高須原小(休校中)で4日、しめ縄作りを体験した。留学生7人が4日、福井高須原小(休校中)でしめ縄作りを体験した。地元農家に教わりながら立派なしめ縄を完成させ、日本の伝統に理解を深めた。

しめ縄作り体験を聞く。(順本祥之)

ひら た なつ ほ
平田 夏帆さん (羽水高1年)

います。それぞれ文化は違いますが、しかし、お互いの文化をきちんと分かっていないというのが事実です。そのため、こうした取り組みは良いと思います。福井の文化を知ってもらい、地元の人と交流を深めるのはとても大切なことです。

私が中学2年の時、外国の方と触れ合う機会がありました。イギリスの踊りを一緒に踊りました。日本にはないリズムの曲だったので難しかったですが、イギリスの文化を知ることができて、その国へ行ったような気持ちになったのを覚えています。

日本文化を外国人に紹介し、体験してもらうことにより、日本とつながりを感じてもらおうとができます。外国人留学生と福井の住民が、お互いの文化を尊重することが大切だと思います。